①	**小川　順宏**　　７３才　　電子・永見先生
②	日立電線　　日高工場（茨城県日立市）　　通信ケーブル設計部
③	３７年勤務中３０％の１１年が単身赴任（海外４年、国内７年）週休２日の国内であれば、帰省も簡単だが、イランの１年、スワジーランドの２年はきつかった。
④	転機などありませんが、こんな会社など辞めたいと考えたことは、１度ならずあります。
⑤	上記④のため、６０才の定年から１日たりとも延長する気なく、Ｈ９年１２月退職。 退職時は子会社の工事会社でした。　　定年後はゴルフ三昧のつもりでしたが、通風を患い、膝にきてしまったため、ゴルフは開店休業の状況で、会社の同期会で２年に１度くらいしかやっていません。 運動は従って２回／週　水泳をやっています。
⑥	庭の芝生をはがして畑にして、３～４年前から野菜作りをたのしんでいます。 海外旅行は最近、少々体力的にきついと感じはじめて、この２年近くご無沙汰です。
⑦	特に変わることはないとおもいます。
⑧	

①	**北野　雄一**　　74 歳　　第 2 講座　徳田助教授
②	東京芝浦電気株式会社（現 **株式会社 東芝**）　東京・本社・特許部
③	1963～**関西支社　技術部**　（上下水道設備等の総合エンジニアリング） 1967～**本社　電機技術部門**（化学プラント、公共設備、浚渫船電気設備、海洋開発、上下水道設備、ごみ焼却発電プラント、核融合電気設備、 防衛省潜水艦等の総合エンジニアリング、国家プロジェクト「大深度石油掘削装置の開発」、オゾナイザーの開発と商品化、個別形熱併給発電システムの開発と実用化） 1985～**本社　施設技術部門**（工場・ビル等の受変電設備、日本コージェネレーションセンター　委員就任、アドバンス・コージェネレーションシステム技術研究組合（ACT90）研究員に就任 印象に残った業務－シンガポール・チャンギー国際空港、エジプト・第 2 スエズ運河、韓国ソウル・ロッテワールドの世界最大規模コージェネレーションシステム、名古屋大学・核融合研究用世界最初最大規模の 125MVA 発電システム（オーム技術賞）等
④	東芝が電力会社への思惑により、コージェネレーションシステム(CGS)から全面的に撤退する方針を出したのを契機として、かねてから招聘を受けていた**新日本空調株式会社**に 1990 年に移籍したこと。以後、電気工学だけでなく、熱工学も含めた総合的なエンジニアリングを志向した。60 歳の定年をここで迎えた。
⑤	新日本空調時代に習得した熱工学も含めた総合エンジニアリング技術を活用するべく、1997 年に**日本環境技研株式会社**に移籍。各都市の地域冷暖房、成田国際空港及び中部国際空港の電源設備、刈谷市特定電気事業などの大型物件の調査･設計に従事。次いで**東京ガス株式会社**の技術顧問に就任し、東京ガス社員及び顧客に対する CGS の教育、セミナー及び大学での分散型発電システムの講義を通じて、普及と実用化を図った。また、電力業界との系統連系に関する協議を重ねた。詳細は文集に記載。すべての業務から完全にリタイヤーしたのは 2007 年。
⑥	併せて設立していた技術士事務所での下記業務の実施 ・東光電気工事から依頼された「JR 札幌駅再開発地域冷暖房」の指導監督業務。 ・金門製作所顧問に就任し、CGS の設計業務の指導及びオーストリア Jenbacher 社のガスエンジン導入等 ・アークトロン株式会社の設計業務、調査等に従事。 現在は特許事務所の依頼で、昔の杵柄を活用して特許申請業務を行っているが、暇な時間ができると年に一度程度のペースで世界各国へブラリと個人旅行をしている。これももう時間の問題。
⑦	1982－水腎症のため右側腎臓摘出手術、大量輸血 7200cc → C 型肝炎感染 2001－大腸がん手術 ← 津田君が命の恩人 2008－完全房室ブロックによる心不全で、緊急入院・ペースメーカ埋め込み手術 → 身体障害者 1 種 1 級 この 3 度の死に瀕した大病のため、健康には注意しつつ残された僅かな時間を大切に生きようと思っている。
⑧	「真面目に、強く、上品に」がモットー